

デジタルマップナビシステム

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全に使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



△警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



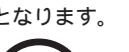
下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

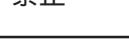
記録作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



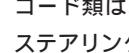
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働き、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける
運転の妨げになる場合、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。



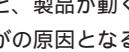
分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。
電気リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超てしまします。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



△注意 下記の注意を守らないとけがをしたり
自動車に損害を与えることがあります。



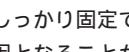
安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



TVアンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける
歩行などに接触し、事故の原因となることがあります。

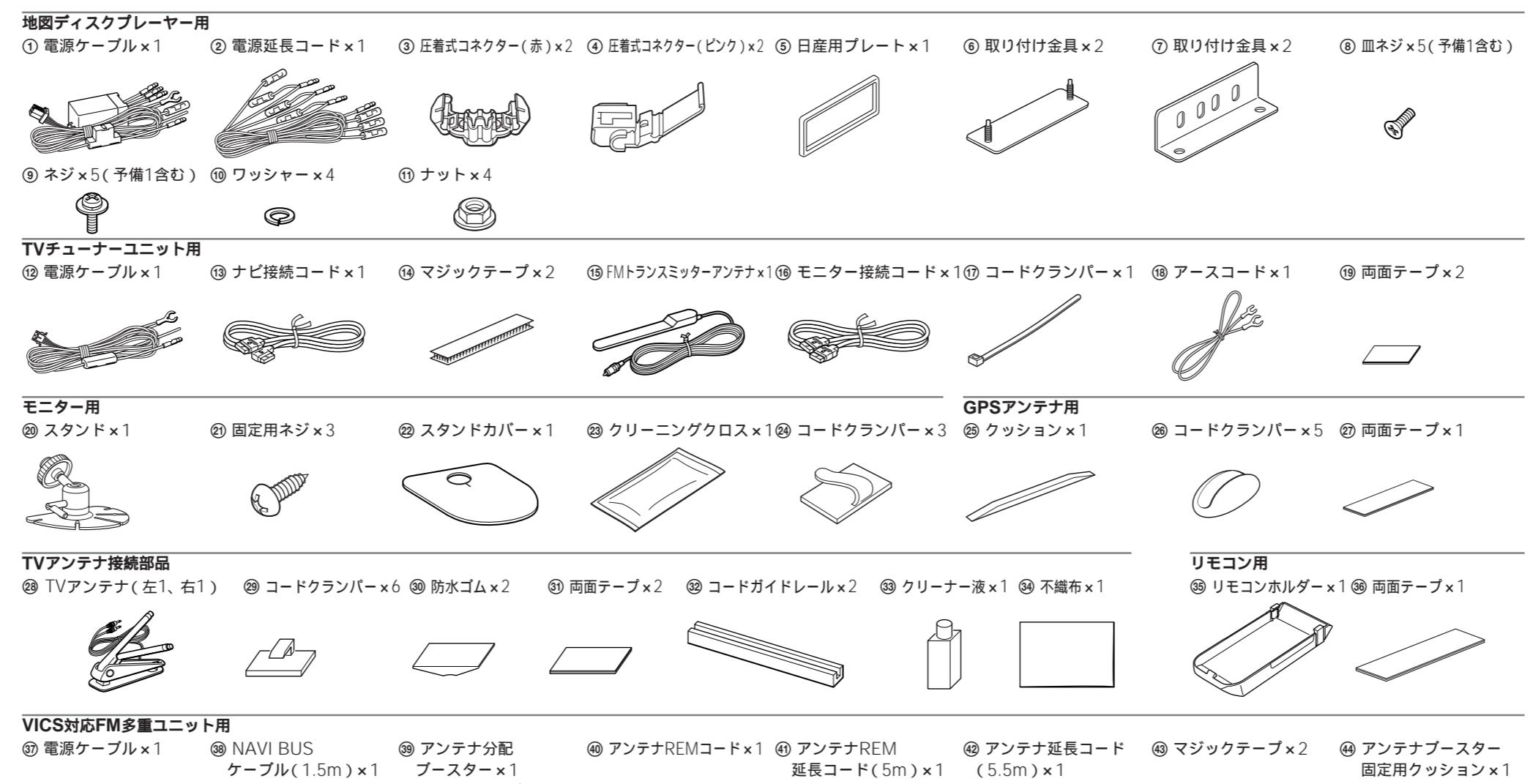


アンテナは確実に両面テープで固定する
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



付属の部品で正しく取り付ける
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

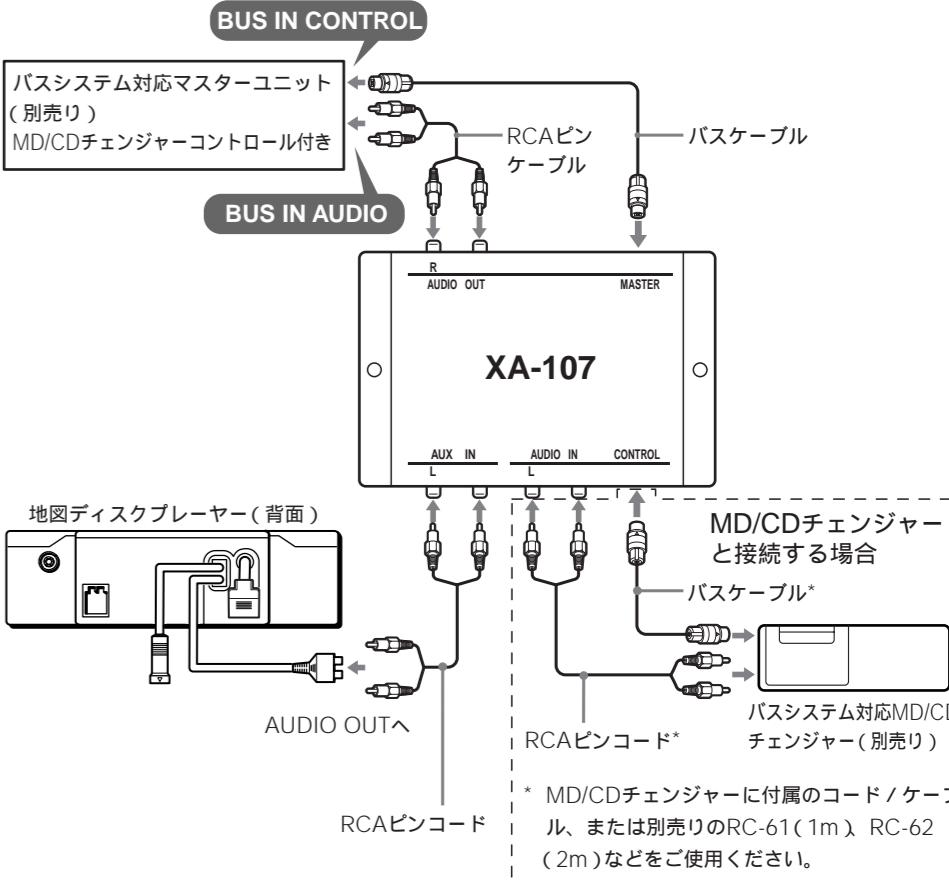
取り付け / 接続部品



カーオーディオと接続する (本機で音楽用CDを再生する場合)

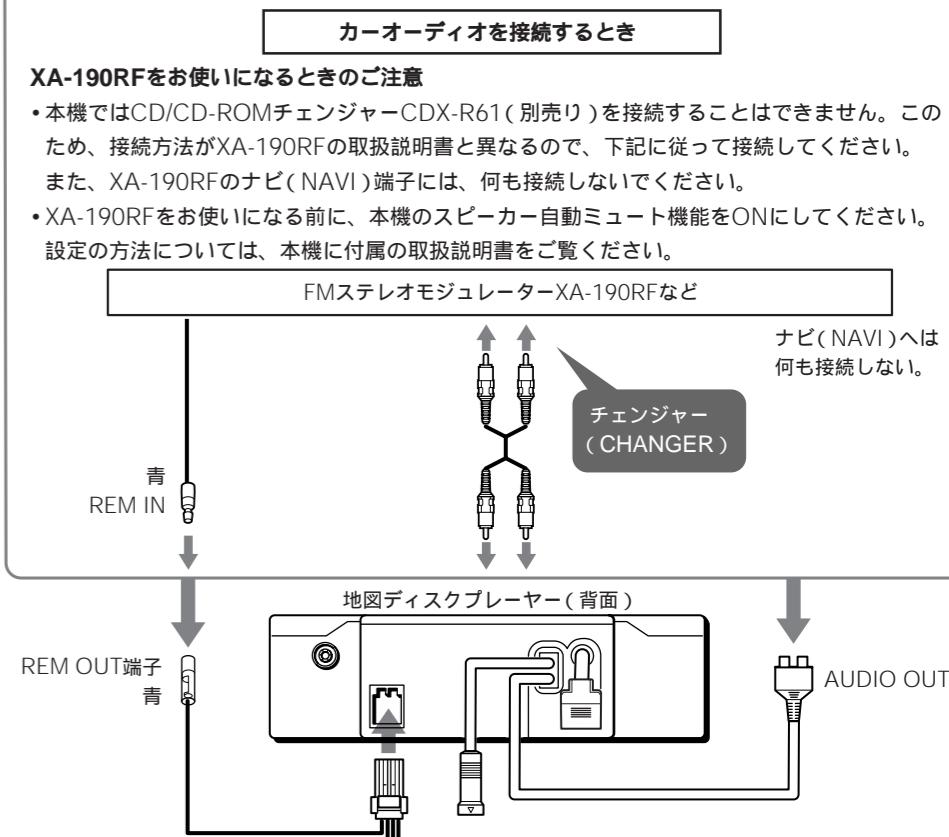
ソニーのカーオーディオの場合

本機をソニーのカーオーディオ(マスターユニット)と接続するときは、ソースセレクターXA-107(別売り)を使います。



他社のカーオーディオの場合

本機を他社のカーオーディオに接続するときは、FMステレオモジュレーターXA-190RF(別売り)を使います。



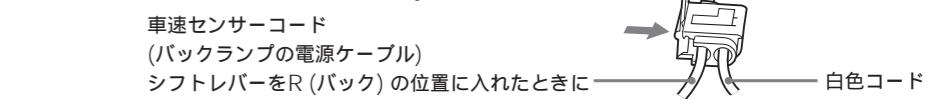
車速センサーコード/バックランプの電源ケーブルの接続について

自効センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源ケーブルを接続しないと、車両後退時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源ケーブルの位置は車両によって異なりますので、必ずお買上げ店にご相談ください。

圧着式コネクター(ピンク)④の使いかた

1 圧着式コネクター④から、金具を取りはずす。

2 センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクターにとおす。



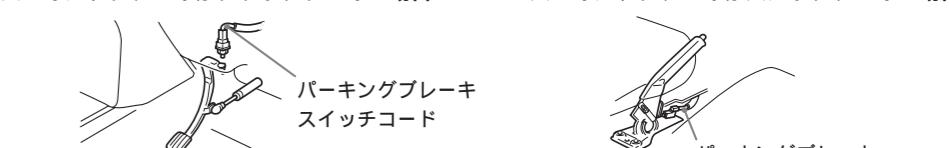
3 手順1ではずした金具を取り付ける。

4 ふたをする。

パーキングブレーキスイッチコードの接続について

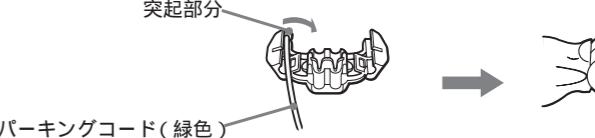
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフルブレーキの場合

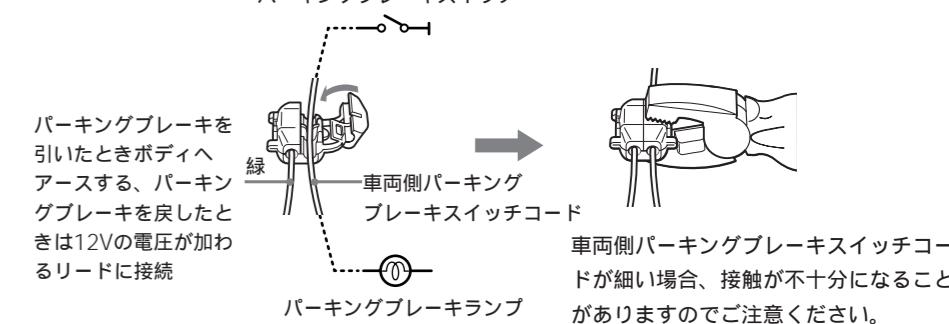


圧着式コネクター(赤)③の使いかた

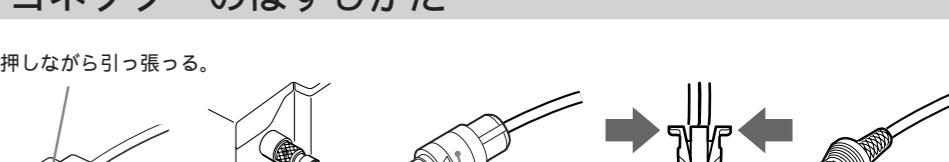
1 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクター③を取り付ける。



2 圧着式コネクターを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける。

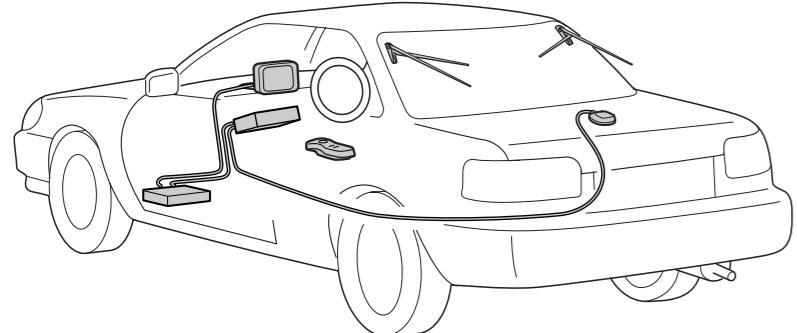


コネクターのはずしかた



取り付ける前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。



ご注意
次のような場所への取り付けは避けしてください。
・高溫になるところ。
・直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

地図ディスクプレーヤーの取り付け

センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

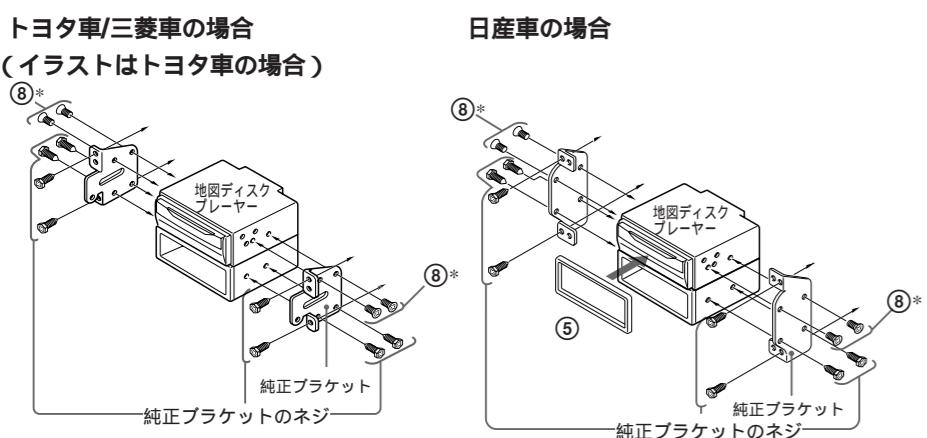
トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、その後に本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。
お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。
取り付けの際は、水平20°以内に取り付けてください。

1 純正カーオーディオを取りはずす。

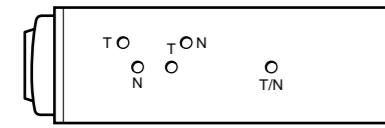
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正プラケットを利用して、本機を取り付けます。

2 本機を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。



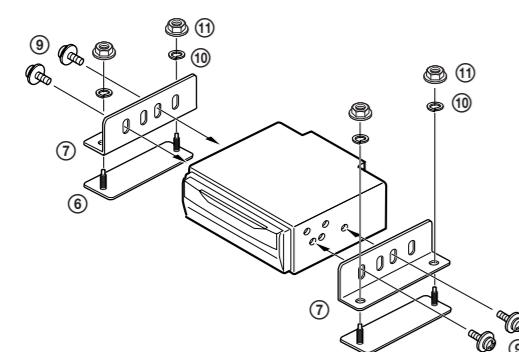
ご注意
・本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
・本機の上部に物をはさみ込まないでください。
・純正プラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用) N(日産車用)マークにプラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属の皿ねじ⑧で取り付けてください。



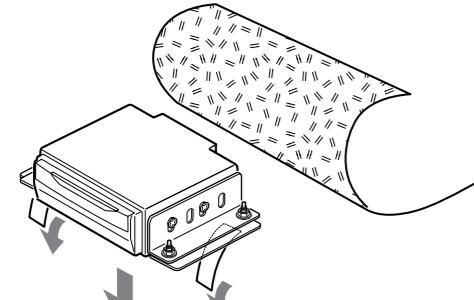
助手席の下やトランクルームなどに取り付ける場合

横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

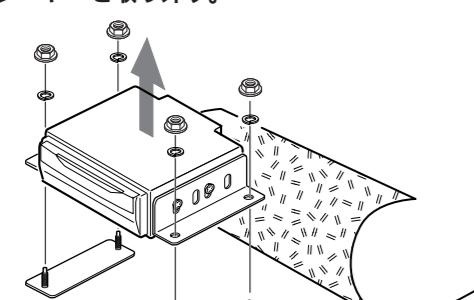
1 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止めする。



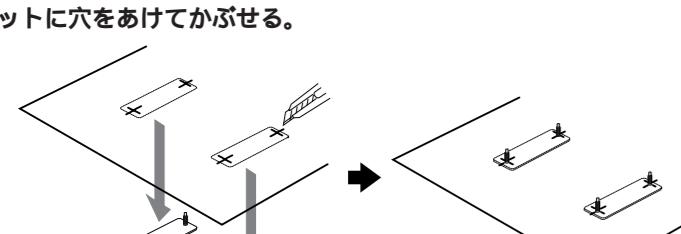
2 カーベットを外して金具を固定する。



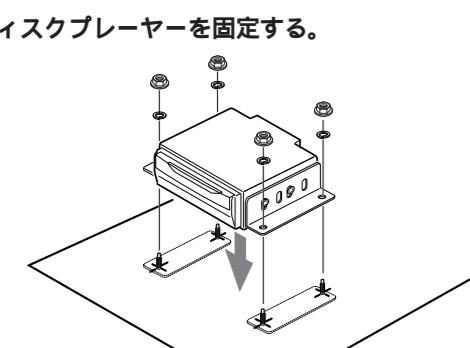
3 地図ディスクプレーヤーを取り外す。



4 カーベットに穴を開けてかぶせる。



5 地図ディスクプレーヤーを固定する。



ご注意
トランクルームに取り付ける場合は、付属の電源延長ケーブル②のかわりに別売りの電源延長ケーブルRC-119P(5m)をお使いください。

TVチューナー・ユニットとVICS対応FM多重ユニットの取り付け

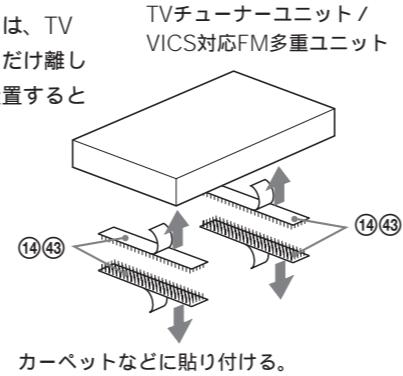
助手席の下などに取り付けてください。

ご注意

- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けしてください。
- ナビゲーションシステムと組み合わせてお使いになるときは、TVチューナー・ユニットと地図ディスクプレーヤーは、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画像に影響が出ることがあります。

マジックテープ④⑤でカーベットなどに取り付ける。

- トランクルームに取り付ける際は、以下の別売り延長コードをご使用ください。
- モニター延長コード RC-116M(4m)
 - 電源接続コード RC-118P(5.5m)



モニターを取り付ける前に

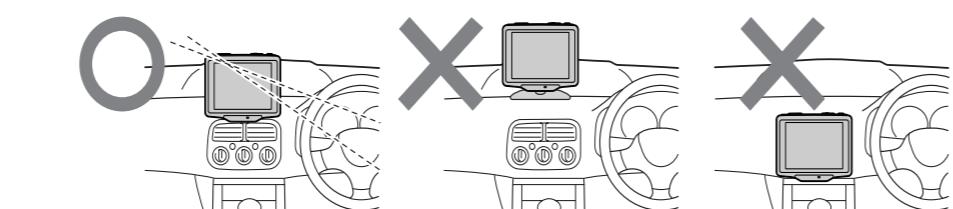
本機のモニターは、安全性を重視して設計されています。

正しい位置に確実に取り付けを行なないと、事故の原因となり大変危険です。
取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行なってください。
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。



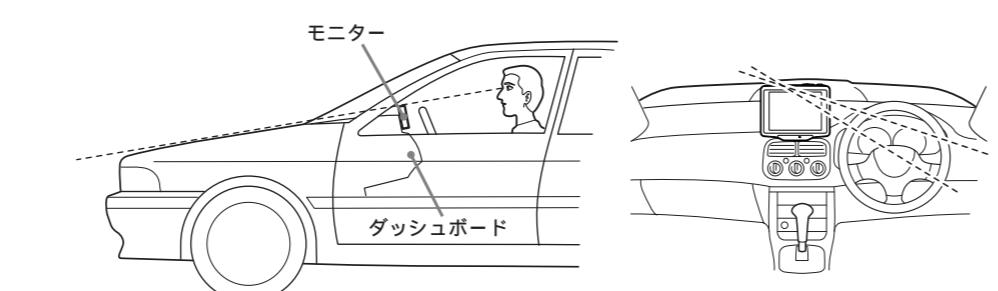
取り付け位置

前方視界を妨げることなく、また運転中端的に視線を動かさずにするように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがポンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に自縫を下げる位置に設定しない。

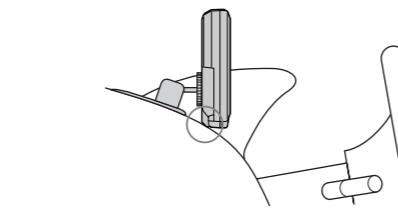


取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

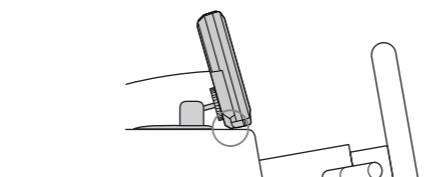
ダッシュボードが曲面の場合

モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



ダッシュボードが平面の場合

モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



ご注意

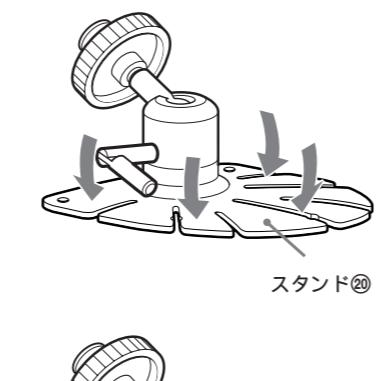
- モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、駐車中に特別にモニターカバー(GM-62)などで覆うなどして、日光が直接当たらないようにしてください。
- モニターを取り付けるときは下記の明るさ検知部を覆つたり、ふさいだりしないよう取り付けてください。

モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行なってください。

1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド②を曲げる。

曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。



2 クリーニングクロス②で取り付け面の汚れを取る。

3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。

ご注意

- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヒーターなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経てからモニターの取り付けを行なってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

4 固定用ネジ⑨で固定する。

ご注意

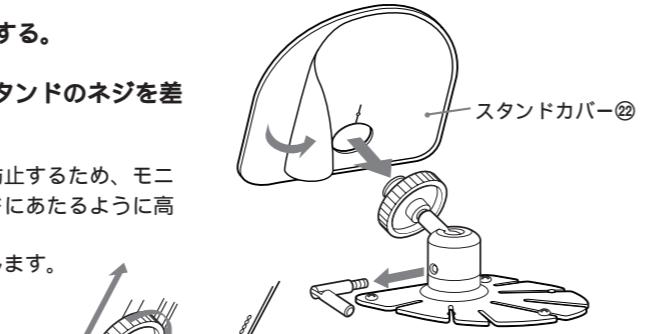
- 取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。



5 スタンドカバー②を接着する。

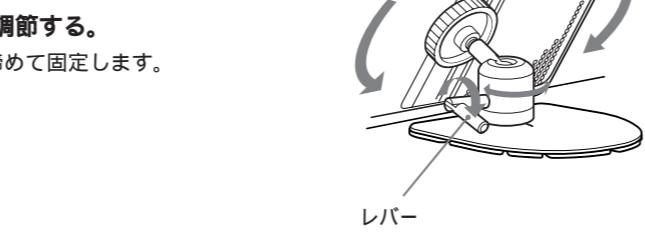
6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。

- 車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。
調節後はネジを締めて固定します。



7 レバーをゆるめて角度を調節する。

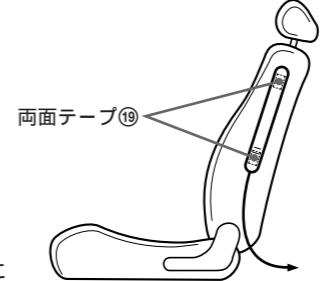
調節後はレバーをしっかり締めて固定します。



FMトランスミッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。

コードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。



両面テープ⑩でシート側面などに取り付ける。

ご注意

- 取り付けるときは、電源をOFFにしてから行ってください。
- 放送局の送信アンテナに近い場所や、車両のFMアンテナの位置によって、また、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。

出力はステレオです。

取り付けたら(動作確認について)

次の手順でカーオーディオからテレビの音声が聞こえることを確認してください。

1 モニターのPOWERスイッチを入れる。

2 FMチューナーの電源を入れる。

3 周波数を合わせる。

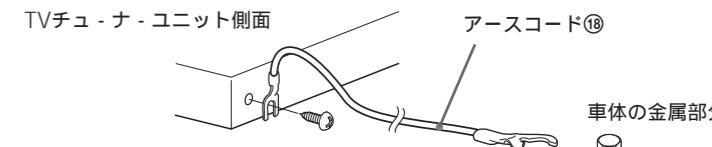
FMトランスミッターアンテナ周波数切り替えスイッチで、設定した周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。

詳しくは、XTL-610用の取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」をご覧ください。

ラジオ受信時の雑音を減らすには(一部車種)

FM/AMガラスアンテナを使用している車種では、付属のTVアンテナをお使いになると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。

その場合、下図のように付属のアースコード⑪で、TVチューナー・ユニットを車体の金属部分にアースしてください。

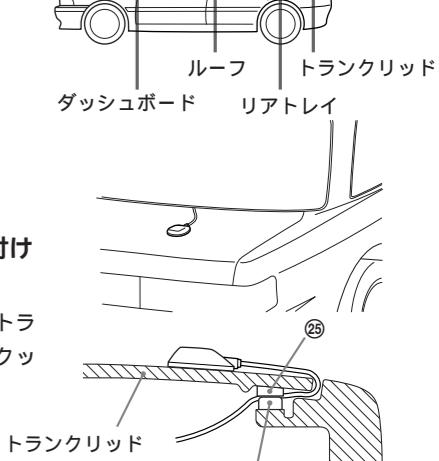


GPSアンテナの取り付け

車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に車外のルーフやトランクリッドなどに、水平に取り付けてください。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。



1 トランクリッドなどの上に取り付ける。

2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑫が当たるように取り付けてください。

ご注意

- コードを車外でたまらせないままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑬をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。

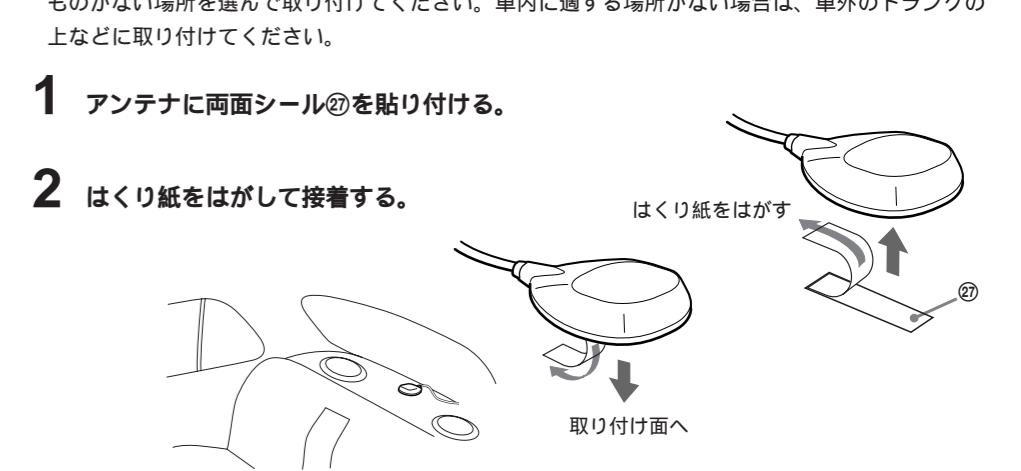
アンテナの塗装について

アンテナは車のボディーカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

車内に取り付ける場合

1 リアトレイやダッシュボードに取り付ける。

2 はくり紙をはがして接着する。



ご注意

一部のウインドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星からの電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

リモコンの取り付け

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

ご注意

次のような場所への取り付けは避けしてください。

・シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。

・運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。

・ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。

リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付ける。

クリーニングクロス⑩で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



ご注意

直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

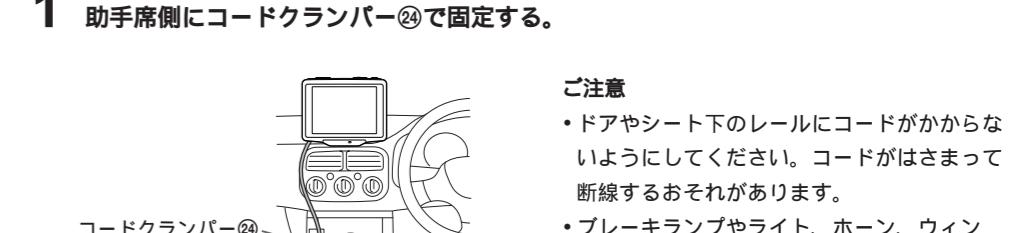
取り付けと接続が終わったら

コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。

コードがシフトレバーなどにからまる、非常に危険です。

1 助手席側にコードクランパー⑪で固定する。



ご注意

- ドアやシート下のレールにコードがかかるないようにして下さい。コードがはさまって断線するおそれがあります。
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。

2 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレ